

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(平成28年3月)

～現状判断DIは3か月連続で低下、50割れは6か月連続～

- 景気ウォッチャー調査・3月調査の近畿地域の結果は、現状判断[方向性]が3か月連続で低下、先行き判断も2か月ぶりの低下となった。
- 足元の状況については、暖冬で苦戦した冬物商戦に比べれば、回復の動きがみられるものの、今月は寒暖の差が大きく、春らしい日が少なかったことから、春物商品の動きに鈍さにつながっている。
- また、インバウンド関連では、相変わらず好調が続いているとの声がある一方、頭打ちや、前年割れといった声も増えており、トレンドの変化が目立ってきている。結果として、現状判断としてはDIの低下につながったとみられる。
- 一方、先行きについては、為替や株価の急変が企業や家計の先行き不安につながっているほか、前月に続いてマイナス金利の影響に対する不安の声も少なくない。
- また、消費税率の引き上げ時期が迫るなか、駆け込み需要への期待の声がある一方、消費マインドへの悪影響を懸念する声も多く、トータルでは先行き不安につながっている。

「インバウンド」関連のコメント(現状判断)

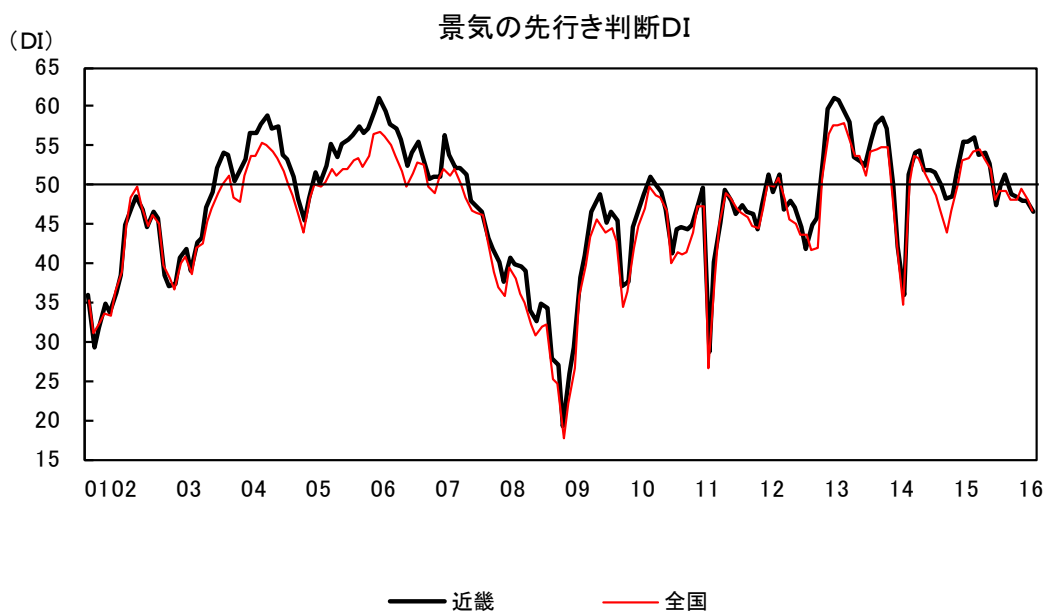
| | | | | |
|--------|--------|--------------|--|---|
| 家計動向関連 | やや良くなる | 商店街(代表者) | ・インバウンド客の買上が増えているほか、低価格品も売れ出している。 | |
| | | 都市型ホテル(スタッフ) | ・相変わらずインバウンドの集客に衰えはみられない。稼働率は限界にきているため、単価を上げているが、勢いは止まらない。それに伴い、食堂も朝食の売上が大幅に伸びている。一方、宴会は前月と同様に前年比で大きく落ち込んでおり、企業を中心に一時の勢いが無い。 | |
| | 変わらない | 百貨店(売場主任) | ・インバウンドに偏った売上構成になっている。国内需要も高額品は活発に動いているものの、ボリュームゾーンである身の回り品の動きが悪い。 | |
| | | 観光型ホテル(経営者) | ・外国人観光客が多いほか、日本人の国内旅行も引き続き好調となっている。接客係の人手不足で、日によっては一部で予約を制限しなければならない事態も生じている。 | |
| | | 都市型ホテル(管理担当) | ・海外からの宿泊者数は堅調に推移している。ただし、ここしばらくの傾向として、団体客から個人客に移行するとともに、朝食付きの宿泊が減少し、朝食売上が伸び悩んでいる。 | |
| | | 旅行代理店(経営者) | ・国内旅行、海外旅行共に、ますます旅行直前の間際予約が増えているが、インバウンドの増加もあり、ホテルも航空券も非常に確保しにくい。現状では何とか昨年並みの水準となっている。 | |
| | なっている | やや悪くなる | 一般小売店[鮮魚](営業担当) | ・前月よりも売上が3%ダウンしている。インバウンドは好調であるが、卸売の不調をカバーしきれていない。 |
| | | | 百貨店(企画担当) | ・今月のインバウンドによる売上は前年比で6%減となる見通し。化粧品は前年を大きく上回っているものの、特選ブランド品や時計などの高額品の売上減少が顕著で、昨年に大きく増えた反動が出ている。 |
| | | | 百貨店(商品担当) | ・都市部、郊外共に、乗客数が減少している。インバウンド需要に支えられていた商品も、今月は売上を落としており、厳しい状況である。食品が中心の催事のほか、文化、教養関連の催事は比較的好調であるが、全体を押し上げるまでには至らない。 |

| | | | |
|--------|-----------|--------------|--|
| 家計動向関連 | やや悪くなっている | 百貨店（マネージャー） | ・ 昨年の11月以降、暖冬の影響はあったが、自社の売上を支えてきた I D カード顧客のうち、中間層による買上数、来店頻度、客単価の漸減状態が続いている。従来強かったセレモニー関連も同様である。また、順調であったインバウンドも、一息ついた状態となっている。 |
| | | 百貨店（外商担当） | ・ 寒い日が続くなどの天候不順により、春物の婦人服の売上が低調である。インバウンド売上も、従来は好調であった高級時計や宝飾品の動きに、以前ほどの勢いがなくなってきている。 |
| | | 百貨店（マネージャー） | ・ 気温が低いため、紳士服や子ども服を中心に、春物衣料の動きがやや鈍い。紳士雑貨も同様である。今まで売上をけん引していたインバウンド消費も、前年並みと伸びがなくなっている。消耗品である化粧品などの単価の低いアイテムは堅調であるが、高級品である時計などの売行きが前年の5分の1に減少している。 |
| | | 一般レストラン（経営者） | ・ 春節前後から、繁華街の人出が増加している。アジア圏の人たちは相変わらず多いが、来店するのは欧米系が増えている。しかし、オフィス街では年度末が近づくとつれて、会社の異動などで宴会やケータリングの需要は安定しているが、個人利用者は減少しているところをみると、まだまだ景気は上向きではないと感じられる。 |
| | | 都市型ホテル（支配人） | ・ 外国人旅行者を含めて、相変わらず宿泊人数は多いが、前年比で単価は下がっている。花見シーズンの宴会予約もやや悪い。 |

「消費税増税」関連のコメント（先行き判断）

| | | | |
|--------|--------|-------------------------|---|
| 家計動向関連 | やや良くなる | その他飲食 [ファーストフード]（店員） | ・ 消費税率が上がるので、それまでに購入しておこうという人が増える。 |
| | | 住宅販売会社（総務担当） | ・ マイナス金利政策の効果や消費税増税前の駆け込み需要で、住宅販売は少し増加する。 |
| | | その他住宅 [展示場]（従業員） | ・ 消費税増税の判断は5月末ごろといわれているので、まだ4～5月は駆け込み需要による来場増が見込めそうである。 |
| | 変わらない | 百貨店（商品担当） | ・ マイナス金利政策による景気浮揚への期待は空振りである。消費税増税の先送りや、ベアの前年比半減、夏の選挙の行方なども、消費に対してプラスには作用しないため、厳しい状況は続きそうである。 |
| | | 百貨店（営業企画） | ・ 春闘による賃上げには昨年ほど期待できず、個人消費が回復する見込みが乏しい。さらに、外的環境の悪化による景気の腰折れリスクもある。消費税増税の見送りが決定し、景況感が改善することを期待している。 |
| | | スーパー（経理担当） | ・ 消費税増税の延期が取りざたされているが、もともと駆け込み需要は少ないという見方もあり、増税の有無にかかわらず大きな影響はなさそうである。賃上げも昨年に比べて低水準であるため、増税の延期がプラス要因にもなりにくい。 |
| | | スーパー（管理担当） | ・ 消費税増税の先延ばしが濃厚な状況で、ベアの規模もここ数年ほどは大きくないなど、物価上昇に合わせた所得の増加は一向に見込めない。 |
| | | その他専門店 [宝石]（経営者） | ・ 来年に消費税率を上げるかどうかによって、これからの景気も変わる。 |
| | | その他小売 [インターネット通販]（企画担当） | ・ 来年の消費税増税の論議などで、先行きが不透明であり、消費には前向きになれない状況が続く。 |
| | くやなる悪 | テーマパーク（職員） | ・ ニュースでも頻繁に消費税増税が取り上げられるようになり、現実はどうなるのかという視点で考える必要が出てきた。選挙が控えているなかで増税の実施は決断しにくいいため、恐らく増税はない。その結果、現状は特に景気対策がないため、何となく今のような不安定な状態が続くと予想される。 |
| | | 家電量販店（企画担当） | ・ 消費税増税の実施による駆け込み需要を予想していたが、延期が検討されようとしているため、消費の足踏みが予測される。 |
| | 悪くなる | 一般小売店 [貴金属製品]（従業員） | ・ マイナス金利政策で不安感が倍増している。また、消費税増税に警戒して、あまりお金を使わなくなっている。 |
| | | 一般小売店 [酒]（社員） | ・ 消費税増税による駆け込み需要や、T P Pの開始による輸入品の値下がりなど、全く先のみえない予想しか業界には流れていない。大阪の消費者の頭はそれほど悪くないため、静観する状況が予想される。結果として、特に小売は伸びにくくなる。 |

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

| | | 年 14 | | | | | | | | | | | | 15 | | | | | | | | | | | | 16 | | |
|-----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|--|
| | | 月 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | | |
| 現 状 判 断 | 近畿 | 60.8 | 43.6 | 45.9 | 47.9 | 51.4 | 49.3 | 49.4 | 47.0 | 45.4 | 47.6 | 47.8 | 53.3 | 54.6 | 54.9 | 53.1 | 53.3 | 52.4 | 51.4 | 50.5 | 49.9 | 46.8 | 49.2 | 47.1 | 45.9 | 44.0 | | |
| | (全国) | 57.9 | 41.6 | 45.1 | 47.7 | 51.3 | 47.4 | 47.4 | 44.0 | 41.5 | 45.2 | 45.6 | 50.1 | 52.2 | 53.6 | 53.3 | 51.0 | 51.6 | 49.3 | 47.5 | 48.2 | 46.1 | 48.7 | 46.6 | 44.6 | 45.4 | | |
| 先 行 き 判 断 | 近畿 | 36.0 | 51.4 | 54.1 | 54.5 | 51.9 | 51.5 | 50.0 | 48.2 | 48.6 | 51.6 | 55.5 | 55.5 | 56.1 | 53.7 | 54.2 | 52.6 | 47.3 | 49.9 | 51.4 | 48.7 | 48.5 | 47.9 | 48.0 | 46.5 | | | |
| | (全国) | 34.7 | 50.3 | 53.8 | 53.3 | 51.5 | 50.4 | 48.7 | 46.6 | 44.0 | 46.7 | 50.0 | 53.2 | 53.4 | 54.2 | 54.5 | 53.5 | 51.9 | 48.2 | 49.1 | 49.1 | 48.2 | 48.2 | 49.5 | 48.2 | 46.7 | | |